

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(22年4月分)

1. 調査実施期間 平成22年 3月20日 ~4月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

4月分の回答企業数は44社、回収率は91.7%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		22/4月	5月	6月
仕入動向	国産材	1.4	△ 4.2	△ 2.9
	外材	4.8	0.0	△ 6.1
販売動向	国産材	△ 4.3	△ 1.4	△ 5.9
	外材	3.6	4.8	0.0
在庫動向	国産材	△ 11.8	△ 12.1	△ 9.4
	外材	△ 14.3	△ 16.7	△ 17.1

仕入は、国産材、外材とも先行き梅雨期を迎えてマイナス気味で弱含み。

販売は、国産材小さなマイナスで、先行きに陰り見られる。

一方外材はプラス、ゼロと引き続き好調である。

在庫は、国産材、外材ともやや大きなマイナスで、ほぼ横ばいの推移。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	22/4月	5月	6月
スギ正角(グリーン)	△ 2.0	△ 2.0	0.0
スギ正角(KD)	△ 1.9	0.0	0.0
ヒノキ正角	0.0	0.0	2.1
ヒノキ土台角	△ 1.9	1.9	2.0
米ツガ正角(現地挽)	△ 1.9	3.8	5.8
米ツガ防腐土台角	1.9	0.0	4.0
米ツガ割物(現地挽)	5.8	7.7	2.0
米マツ平角	1.9	9.6	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	7.7	9.6	8.0
ホワイトウッド集成管柱	46.4	26.8	7.4
レッドウッド集成平角	31.0	19.0	9.5
型枠合板(国産)	30.4	19.6	4.5
型枠合板(輸入)	36.4	22.7	4.8
針葉樹合板	35.0	25.0	5.3

スギ正角(グリーン、KD)、ヒノキ正角、土台角は小さなマイナス、ゼロとほぼ変わりなし。

米ツガ正角、防腐土台角、割物はいずれも先行きプラスで強含み。米マツ平角も出入りあるがプラス基調である。

北洋アカマツタルキは安定して勢いある。

WW集成管柱、RW集成平角とも先行きプラス一気に縮小だが、好調に変わらない。

合板(針葉樹合板含む)はプラス幅が縮まり、価格維持がいつまで持つか不透明だが、当面は好調である。

1. 荷動き				
仕入動向	米マツ一般材丸太では、米国産丸太は3月積み輸出価で全タイプが値上げ。カナダ材も引き続きオールド・セカンドグロともに値上げ。中国の買いは旺盛でアラスカから米国南部まで、北米全土での丸太買いを進めている。(東京:米材問屋) スプルース、イエローシーダー、ベイヒバ等の入荷は極端に少なく品質の低下も重なり、難しい局面である。(東京:米材問屋) 特に欧州材(WW)は荷動き良く、むしろ仕入れが出来ない位。(東京:米材問屋) 4月に東北・関東地区にて特売を行うため在庫を増やしている。(東京:外材集成材問屋) 集成材関係は全て在庫不足。スポットでは売って貰えない状況になってきた。(東京:米材問屋) 南洋材)中国や他国の買い付けにより産地価格は相変わらず強い。中国材)内需旺盛で価格面で利益の少ない日本向けは敬遠。(東京:南洋・中国材問屋) 中国材は関税の関係から4月は入荷が増える。(東京:南洋・中国材問屋) 現地の丸太不足気味で製品入荷減少。(東京:南洋材問屋) 荷動きに関係なく仕入れにタイト感。(東京:国産材問屋) 小安い品物もある。(東京:国産材問屋) 今の状況では積極的に仕入れ出来ず。(東京:国産材問屋) 内地挽きのアカマツ残木がない。(東京:国産材問屋) WWEW管柱:依然として品薄状態。国内産1,800~1,900円/本、納期回答なし。現地製品の入荷待ち。RWEW平角:3月上旬の港湾ストの影響で5~6月のラミナ入荷が心配されている。入荷遅れがあれば混乱する状況かも。(東海:外材問屋) 荷動き細かく忙しくとも売上額伸びず。4月は3月以上に苦戦しそう。中小規模マンション物件および公共工事はどこへ行ったのやら。(東京:仲買小売) 先の仕事があまりないので仕入れをストップしている。(東京:仲買小売) 相変わらず低調な商いだが翌月に新築2棟入る予定で荷動きが少し変わる見通し。(東京:仲買小売) 市場が記念市のため付き合いで仕入れ予定。(大阪:仲買小売) 北洋アカマツは早めの手配。(東京:仲買小売)			
	販売動向	米マツ一般材丸太京浜マーケットでは、大手メーカーに仕事が集中しており、製材業者間の格差は益々広がっている。問屋はコストアップから、大手製材業者へは強気価格提示が続いている。(東京:米材問屋) 欧州材と米・カナダのKD割物が引き続き良い。(東京:米材問屋) 集成材は強くなってきた。(東京:米材問屋) 入荷大幅減にもかかわらず、客先は慌てておらず、徹底した当用買いの傾向が続いている。価格も保合。(東京:米材問屋) リフォーム関連仕事はあるようで加工を伴う注文はある。産地価格上昇分の転嫁は思うように進まず。(東京:南洋・中国材問屋) 3月は年度末で仕事は少なかった。4月以降は新規の現場が始まり、仕事は増えると思われる。(東京:南洋・中国材問屋) 4月の特売で通常よりは販売増加すると思われる。その反動で5月は落ちると思う。(東京:外材集成材問屋) 内地材を使うような民間持家住宅は底堅く、これ以上は減らないのでは。いくらかの明るさあり。(東京:国産材問屋) 先月に比べ商いは細かいながら忙しい。お客が在庫しなくなったためか。(東京:国産材問屋) 単価は別として、仕事がないから買えないというお客様の声。(東京:国産材問屋) 販売上向かず。(東京:国産材問屋) スギ柱角にやや動きあり。(東京:国産材問屋) 小口化しているが多少動いている。(東京:南洋材問屋) 相変わらず全く動きが悪い。(東海:外材問屋) 小さな物件がいくつかある程度。住宅エコポイントも関係なし。(東京:仲買小売) 当月は増築・店舗の改装等により構造材・羽柄材ともやや増加。ただ先の見通しは出来ず。(東京:仲買小売) 改造工事・新築とも話が出始めているので、来月以降少しは動くかと期待している。(東京:仲買小売) ビル改装が増えた分3mのタルキ需要が増えた。(東京:仲買小売) 徐々に動き出している。今月も動きが悪い会社はかなりヤバイのでは…。(東海:仲買小売) 4月は少し忙しくなりそう。工務店さんは見積もりがあっても、なかなか決まらないそうです。(大阪:仲買小売)		
		在庫動向	米マツ一般材丸太では京浜港2月入荷分は荷動き好調なため、大幅な在庫積み増しにはなっていない。(東京:米材問屋) 在庫の減少は続いていて、今月末には在庫ゼロになる恐れもあり。(東京:米材問屋) 4月は一時的な在庫は増えるが、5月以降は通常に戻ると思われる。(東京:南洋・中国材問屋) 在庫は3-4月がピークで少しずつ落としていく予定。(東京:外材集成材問屋) 先行きWW材、米材、北洋アカマツ材は仕入れ減により無い物高になると思うが在庫積み増しが出来ない。(東京:国産材問屋) 日本向け出荷の敬遠から埠頭在庫量は一昨年と比較して少ないまま。(東京:南洋・中国材問屋) 集成材は買いたくとも流通在庫ない。(東京:米材問屋) 在庫は極力控える。(東京:仲買小売) 品薄でも川下は元気に買い控え状態。新年度に少しは期待したい。(東京:仲買小売)	
			2. 価格動向	
			スギ正角	スギ・ヒノキとも構造材の荷動き不振。(東京:問屋) 価格は変化無し。(東京:問屋)
			ヒノキ正角 土台角	こしばらくスギ・ヒノキは全く変動無し。(東京:仲買)
		米ツガ	割物は、川上で値上げの声が出始めているとの事。(東京:仲買)	
		米マツ平角	集成の平角は値上がりしているが米マツはまだ上がらない。(東京:問屋) 大手メーカーが5月に値上げするかも。(東海:問屋)	
		北洋アカマツ タルキ	価格には反映されていないが、グレードを変更して調整している様子。A品(良材)は品薄。(東京:仲買) スギ、ヒノキ、米ツガとともに特に動きなし。(東海:問屋) 良材不足から質の低下が出ている。(東京:仲買)	
		WW・RW 集成材	頭打ちの感があり。売れるのはプレカット関係の業者ばかり。高は売れない。(東京:問屋) RW平角は完全に値上がり。在庫はなくなってきた。(東京:問屋) 価格よりも品物の入手が困難。(東京:問屋) WW、RWとも仕入れが難しく、欠品も出始めた。価格は上昇、納期は1ヶ月かかる。(東京:問屋) WW:入荷遅れ目立つ。国内産の手当ても難しい。価格上昇。RW:先行きのラミナの入荷に不安。価格上昇。製品の入荷遅れもあり。(東海:問屋) WWは上昇。RWもそれにつられて上昇か。(東京:仲買) WW、2,300円/本でも入手難。(大阪:仲買)	
合板		針葉樹合板価格はやや上昇。特に品薄感も無く、価格維持が何時まで出来るか。(東海:問屋) 針葉樹は荷動きが出れば、いくら生産能力過剰とはいえ、コストに見合った価格に収斂してくるのでは。(東京:仲買) コンパネ、ロングパネルは多少品薄でやや上昇。針葉樹合板も同じ。(東京:仲買) 針葉樹合板、これ以上は上がらないだろう。(東海:仲買)		